



「ひがしひろしま 農業GUIDE 2024」

vol.4
Higashihiroshima
Agricultural
guide book



「農」を楽しむ

「農」を楽しむー。

それは、これから農業を始める人にとって、とても大切な感情だと思いま
す。事を始めるときは、まず自分が楽しまなければ長続きしません。

人それぞれ、楽しさが違うのも「農」の魅力と言えるでしょう。同じ農作物
を育てている人でも楽しさは十人十色だと思います。

自然相手なので、時にはつらい時もあるかもしれません。そのつらさや苦
しさを打破するのは、決して折れることのない強い志や家族や仲間の協力か
もしれません。

INDEX

P.2

就農するなら東広島

東広島市黒瀬町の魅力とハボタンの紹介

P.3

黒瀬町の花畑もりもと

森本敏充さんインタビュー

P.4

東広島市園芸センター 果樹生産講座受講生の声

園芸ニュース



就農するなら東広島



東広島市には、農業や暮らしにいいもの、いいことがあります。
そんな東広島市の魅力をちよっと紹介します。今回は、黒瀬町に
スポットをあててみました。

黒瀬町は、東広島・
呉自動車道等幹線道路
の整備により呉市や広
島都市圏への近接性が
向上しています。
また、健康・医療・
福祉系総合大学の広島
国際大学が立地し、福
祉に関連した地域連携
が行われており、福祉
の増進に取り組む町で
す。
農業の取り組みは、
良好なほ場環境を活か
し都市近郊型農業を促
進、また、農業参入企
業の誘致等の推進も含
めて適正な土地利用に
よる地域環境の維持・
形成を推進しています。



龍王山総合公園からの風景



広島国際大学 東広島キャンパス



東広島呉道路

ハボタンの魅力

葉牡丹（ハボタン）のルーツは、江戸前期にオランダから渡来したとされる食用ケールまで遡ります。その後、日本人が品種改良して食用から観賞用へと大変身しました。この時代は、縁起の良い牡丹の花を大名や庄屋だけが職人を雇い寒牡丹を咲かせ、飾る習慣がありましたが、高価なため一般庶民が、牡丹の代わりとして葉牡丹を縁起

がいいとしてお正月に飾り始めたところから全国で生産されるようになりました。

東広島市で生産が始まったのは、広島県西部農業技術指導所の声掛けにより、露地栽培、低コスト換金作物として、切花ハボタンに注目して黒瀬町を中心に栽培が始まったことがきっかけです。



東広島市



新たな担い手を 花き生産講座の紹介

「トルコギキョウ」の切り花栽培技術の講座を開催しています。

毎年募集して、2年間学んでもらいます。令和5年度は1年生が6名、2年生2名が、トルコギキョウの種処理、播種、定植、収穫、出荷調整等販売までを学んでいます。

また、この講座終了後も、OBの方々を中心に生産者団体「東広島フラワーズグループ」を結成して、現在35人のメンバーが一丸となり、生産技術の向上、販路拡大に向けて頑張っています。



東広島市の 花き農家の現状



東広島市の花きは、地産地消が進み産直市における個人向けの切り花の需要が堅調で、冠婚葬祭等の業務用需要に支えられるなか、花苗やトルコギキョウ、菊、ハボタンなどさまざまな花が生産されています。

「ひがしひろしま 農業GUIDE 2024」 Higashihiroshima Agricultural guide book

INTERVIEW

花畑 もりもと

FLOWER GARDEN MORIMOTO

森本 敏充 さん

黒瀬町在住

就農者に聞く！

就農23年目 人と地域と作物を結ぶ農園に

東広島市黒瀬町で菊やハボタンを栽培している森本敏充さん。呉市に住んでいた森本さんが同町に移住した理由や農業の魅力、心得について話を聞きました。

「なぜ農業を始めたのうと思われたのですか？」

もともと農業に携わっていたが、常日頃から自分とは会社勤めは不向きだと思っていた。自分で農業を始めようと思ったターニングポイントは1999年、親子で参加した菊の栽培講座でした。菊づくりの魅力に取りつかれ、そこで学んだノウハウをもとに、黒瀬町で菊

づくりを2000年にスタートさせました。

「農地を黒瀬町に決めたきっかけを教えてください。」

それまで住んでいた呉市の農地がなかなか見つからず、呉市に近い東広島市黒瀬町も視野に入れていました。農業委員会に紹介してもらい、今の場所です。農業をすることにしました。

「農業をしようと思ったことは、どのようなことですか？」

売上げが上がった時が一番うれしいです。数字は嘘をつきませんし、売上げが上がるということは、それだけ

消費者に認めてもらっている証拠だと捉えています。

「花畑もりもとで育てている農産物にはどのようなものがありますか？」

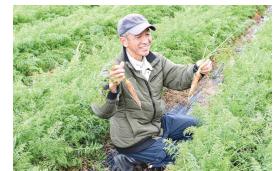
菊がメインにはなりますが、ハボタンやストック、キャベツ、人参、水菜や飼料米もつくっています。

「それだけの作物を育てるのは苦労も多いと思うのですが。」

現在、母と妻の3人で支え合っているが、それぞれの農作物の出荷時期を微妙にずらし計算しながら育てているので出荷数も売上げも安定しています。ただ、農業を始めた当初はまったくうまくいきませんでした。

「安定した出荷を行うまでにどのような工夫をされたのですか？」

苦労したのが、田んぼの水はけの悪さでした。それを改善するた



畑でニンジン収穫する

ています。私自身が人と話すことが苦手なので、すぐ助かっていきます。また、販売ブースで消費者の声を聞いて、商品化することで、売上げも上がっています。

「森本さんの元気の源は何ですか？」

昔は農業一筋の精神でやっていましたが、今は月に1回、地域の人たちとゴルフに行き、気晴らしをしているのが楽しいです。他業種の人たちと話し合うことは自分自身の勉強になります。

「最後に、就農を考えている人にメッセージをお願いします。」

農業はひとりではできません。持論になりますが、農業を始める前にパートナーを見つけて一緒に取り組むことをおすすめします。自分にはないものや相手にはないものを補いながらできるのも農業の魅力と言えるでしょう。



花畑もりもと 森本敏充さん（左）・てるみさん（右）



成長した菊を確認する森本さん



菊の出荷準備をする森本さん

東広島市園芸センター果樹生産講座受講生の声



中島 梓

(なかしま あづさ)

夫、子供2人
(6歳、4歳)
令和5年度生
志和町

ぶどう棚をつくる相談をする中島さん(左)



園芸センター職員に、家の裏庭と買った農地にブドウ棚を作るのに、現地でアドバイスをしてもらいました。

1月には、ぶどう2本、育てるのが難しいと言われる桃3本を植樹しました。

園芸センター職員に、家の裏庭と買った農地にブドウ棚を作るのに、現地でアドバイスをしてもらいました。

の時、家で過ごす時間が増え、これからの生き方のデザイン(まだ幼い子供たちとの大切な時間、子供たちが巣立った後の夫と私の時間の過ごし方を色々考えたことです。

私は、薪ストーブがある家とその近くに農地を買って、子どもにいい野菜を作りたいと思うようになりました。夫もその意見に賛成してくれて、東広島市の空き家バンクで物件を探して、家と農地を志和町で購入しました。

園芸センターにも農業を始めるということで相談に行きました。昨年度は、初心者向けの園芸日曜講座、今年度は、果樹生産講座を受講して、まずは、農業を楽しむところから始めることにしました。

ぶどう棚の雨よけハウスと杉西さん



杉ちゃんぶどう園 杉西 寿昭

(すぎにし かずあき)

果樹生産講座
平成28年度生
黒瀬町

退職を機に、人に勧められ始めるようになったぶどう栽培。園芸センターで、水田をぶどう棚にする設計から、雨よけトンネル設置、土づくり、苗木の選定を学び、自分で準備ができました。品種は、濃厚な味わいが楽しめる「ジョーネ」と、しっかりと甘さを感じられる「シャインマスカット」の2本を定植しました。

3年が経過して10房くらい棚にぶら下がるぶどうを見た時に、摘房の苦労が喜びに変わりました。今は、1本に1000、150房を目安に生産調整しています。棚の高さを、自分の視線の高さにして、摘粒、摘房が無理な姿勢での作業にならないよう設置しました。

8年が経過して、9本のぶどう棚が8、9月終わりごろまで色鮮やかに実っています。ピンポン玉の大きさの粒ができる「雄宝(ゆうほう)」を買いに来たおばあちゃんとお孫さんに選んで収穫してもらったら、1粒の大きさにびっくりしながらぶどうを口いっぱいほおばるお孫さんたちの笑顔をバチリ。

今年は、マイハート、ナガンパールほか品種を植えます。冬時期は、新しく設置するぶどう棚の準備と来季に向けての枝の剪定作業で忙しくなります。振り返ってみると、私のぶどう栽培に興味を持ってくれ、多くのぶどう仲間ができたこと、毎年楽しみに買いに来てくれるお客さんで、本当にありがたいことです。

発行元／
東広島市園芸センター

ひがしひろしま 農業GUIDE
vol.4 [2024年2月発行]



園芸センター職員に、家の裏庭と買った農地にブドウ棚を作るのに、現地でアドバイスをしてもらいました。

職場体験

園芸NEWS

東広島市立志和中学校
2年1組 門石 凌

東広島市園芸センター
で7月4日～6日の3日間、職場体験学習をさせていただきました。

体験を通して、野菜の栽培や果樹の出荷などの大変さを知り、いつも自分たちが食べている野菜や果物がどんな環境で作られているかなどを知ることができました。また野菜や果物の収穫も体験させていただき、仕事のやりがいを感じることができました。とても良い体験となりました。